

全国高校生第1回手話パフォーマンス甲子園 審査基準

予選審査

1 審査日

平成26年10月18日（土）

2 審査方法

主催者が委嘱した4名の予選審査員が応募チームから提出された動画を審査、採点する。

3 採点方法

次の審査表による審査項目を各審査員が担当項目別に採点する。

	手話の正確性・ 分かりやすさ	手話表現の創 造性・表現力	総合的な表現力・ パフォーマンス度	合計
審査員 A	(30 点満点)	(30 点満点)		(60 点満点)
審査員 B	(30 点満点)	(30 点満点)		(60 点満点)
審査員 C			(40 点満点)	(40 点満点)
審査員 D			(40 点満点)	(40 点満点)
合計	(60 点満点)	(60 点満点)	(80 点満点)	(200 点満点)

4 本戦出場チーム選出方法

① 地方ブロック枠（6チーム）

応募チームを所在地別に6つの地方ブロック（北海道・東北ブロック、関東ブロック、中部ブロック、近畿ブロック、中四国ブロック、九州ブロック）に振り分け、各ブロックで審査得点の合計が1位であったチームを本戦出場チームに選出する。

② 得点順枠（7チーム程度）

地方ブロック枠選出チームを除き、審査得点の合計が上位の7チーム程度を本戦出場チームに選出する。

③ 開催地枠（2チーム）

地方ブロック枠及び得点順枠の選出チームを除き、鳥取県内の応募チームで審査得点の合計が上位の2チームを本戦出場チームに選出する。

④ 特別枠（5チーム程度）

手話の普及に関する条例を制定した自治体及び手話の普及に関心の高い自治体が推薦するチーム（1自治体につき1チーム）を本戦出場チームに選出する。なお、特別枠によるチームは採点を行わないため、①地方ブロック枠及び②得点順枠の対象外とする。

※①地方ブロック枠、②得点順枠、③開催地枠について、合計得点が同点となり、本戦出場チームが得点では決められない場合、審査員長が決定する。

5 結果通知及び公表

- (1) 特別枠を除く応募チームに対し、予選審査結果（予選通過又は落選）、3の採点方法による採点結果（審査員名は非公開）及び審査員評を送付する。
- (2) 大会ホームページでは、本戦出場チーム一覧（応募で提出された集合写真を含む）及び特別枠を除く応募チームの最終得点一覧（チーム名は本戦出場チームのみ公開）を公表する。

本戦審査

1 審査方法

- (1) 主催者が委嘱した6名の審査員が次の審査表による審査項目を担当項目別に採点する。

	手話の正確性・ 分かりやすさ	手話表現の創 造性・表現力	総合的な表現力・ パフォーマンス度	合計
審査員 A	(30 点満点)	(30 点満点)		(60 点満点)
審査員 B	(30 点満点)	(30 点満点)		(60 点満点)
審査員 C	(30 点満点)	(30 点満点)		(60 点満点)
審査員 D			(40 点満点)	(40 点満点)
審査員 E			(40 点満点)	(40 点満点)
審査員 F			(40 点満点)	(40 点満点)
合計	(90 点満点)	(90 点満点)	(120 点満点)	(300 点満点)

- (2) 審査項目ごとの最終得点の合計により、優勝、準優勝、3位を決定する。
- (3) 上位3位までの最終得点が高点の場合、審査員長が最終的な順位を決定する。
- (4) 審査員特別賞は審査員の協議により決定する。

2 結果の公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、1の審査方法による最終得点及び審査員評を送付する。
- (2) 大会ホームページでは、受賞チーム名、最終得点一覧（チーム名は優勝、準優勝、3位のみ公開）及び審査員評を公表する。